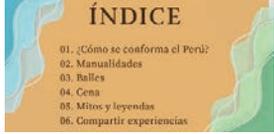
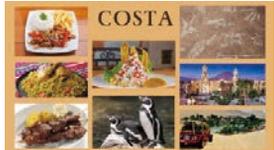


単元名:多様性と団結の言語スペイン語から考える多文化共生社会		
氏名:高野 正之	学校名:奈良県立国際高等学校	
担当教科:英語・世界の言語(スペイン語)	実践教科:世界の言語II(スペイン語)	
時間数:4時間	対象学年:2年	人数:33人
使用教材:『Español para alumnos de bachillerato(高校生のためのスペイン語)』(同学社) その他プリント教材、映像など		

【実施概要】

【1】単元の目標		
<ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな国や地域で話されているスペイン語の多様性や寛容性とその背景を理解する。 ・ペルーとメキシコで使われるスペイン語の特徴や背景を理解し、実際のコミュニケーションでも使えるようになる。 ・多文化共生社会のあり方について生徒自身が自分ごととして考え、行動できるようになる。 		
【2】単元の評価規準	(ア) 知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・ペルーの言語文化と日本や他のスペイン語圏の国との相違点を考え、多文化について理解している。 ・スペイン語の表現を通して「多様性(diversidad)」と「団結(unidad)」という価値観を学ぶ。
	(イ) 思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・多様なスペイン語を文脈に応じて理解したり、使えたりするようになる。
	(ウ) 主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・異なる文化や言語を持つ人々と共生することの重要性に気づき、互いを尊重する姿勢を養う。 ・自分の文化と他者の文化を比較しながら、多様性を前向きに捉える視点を育む。
【3】単元設定の理由	<p>【生徒観】 本校では中高合わせて40名前後の外国にルーツをもつ生徒が在籍しており、その国籍やルーツも多様で、小学校時代から学校内外で日本語指導や母語指導を受けている生徒も在籍している。 2年生スペイン語選択の生徒は、4月からスペイン語を学習し始めたところではあるが、全体的に前向きな態度で授業に臨んでいる。授業内でのコミュニケーション活動やメキシコの高校生とのオンライン交流にも積極的に取り組んでいる。また、海外留学や進学を目指している生徒もいる。 このような学校環境の中で、多文化や多言語に触れる日常に溶け込んでいるために、多文化共生、異文化理解の課題を却って「自分ごと」として捉える機会が不十分な部分もあると感じている。</p> <p>【教材観】 これまで授業者の実体験から、メキシコやスペインの社会や言語文化についての題材を取り扱ってきた。今回は授業者が教師海外研修に参加し、ペルーで体験したことや学んだことを教材として、言語そのものだけでなく、多文化共生について考える機会としたい。</p> <p>【指導観】 指導にあたっては、今まで扱ってきたスペインやメキシコのスペイン語を確認し、ペルーの歴史や社会、文化について触れた上で、ペルー独自のスペイン語について扱う。ペルーで使用されるスペイン語の特徴には、多様な民族構成が共存する歴史的背景と日系人コミュニティの存在が関係していることに触れつつ、スペイン語話者は違いがあっても互いに理解し合い、受け入れていることを理解させたい。その上で、スペイン語は世界中の多様な人々が使う「団結の言語」で、違いを超えてつながることができる力をもっていること、多文化共生は言葉を学び、目の前の相手を知ることから始まることを再認識させたい。</p>	

【4】展開計画(全4時間)			
時	テーマ・ねらい	活動・内容	使用教材
1	<ul style="list-style-type: none"> ・スペイン語圏で広く使用される標準的な形容詞について、使えるようになる。 ・メキシコの文化(死者の日と民族多様性)とメキシコのスペイン語独自の感情表現について理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書を使用し、ペアで日本語、スペイン語の意味を言い合って練習する。 ・メキシコ人講師のモンセラット・マルティネス先生によるワークショップ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書 ・自作スライド 
2	<ul style="list-style-type: none"> ・ペルーの歴史、文化、多様性について理解を深める。 ・ペルーの文化的多様性と豊かな食文化が結びついたペルー独自のスペイン語表現を学ぶ。 ・“El español, lengua de unión” からスペイン語が多様性と団結の言語であることを学ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・フォトランゲージにより、ペルーの写真から読み取りを行う。(セビーチェ、じゃがいもや果物など豊富な食材、ホセ・ガルベス校の motto、ペルーで出会った日系人、市場で出会った素敵な笑顔の店主) ・普段学んでいる標準スペイン語の名詞や形容詞がペルーのスペイン語ではどのような使い方をするのか、写真や絵をヒントに考える。 ・スペイン人講師 ファン・アグスティン先生の発音を聞いて、スペイン語の多様性の特徴と言語文化に関するパッセージのディクテーションに取り組む。 ・振り返りシートに記入する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自作スライド ・ディクテーションシート “El español, lengua de unión” ・振り返りワークシート   
3 本時	<ul style="list-style-type: none"> ・ペルー文化と独自のスペイン語を学ぶ。 ・外国ルーツをもつ本校生徒が作成した多文化共生に関するビデオを視聴し、日本における多文化共生について考える。 ・ペルールーツの生徒の発表を聞いて、多文化共生のために何ができるかを考える 	<ul style="list-style-type: none"> ・ペルー独自のスペイン語について振り返り。 ・本校生徒作成のビデオを視聴し、生徒同士でディスカッションする。 ・ペルールーツの生徒の発表を聞いて、多文化共生のために自分ができることを考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自作スライド ・Kahoot ・映像資料 ・ワークシート
4	<ul style="list-style-type: none"> ・ケーススタディを通して、地域における多文化共生について理解を深める。 ・やさしい日本語への変換を体験し、メキシコひまわり日本語学校の学生との交流に活かす。 	<ul style="list-style-type: none"> ・前回のビデオメッセージを振り返り、考えたことを全体でシェアする。 ・次回の授業で本校を訪問するひまわり日本語学校の学生との交流に向けて、メキシコ独自のスペイン語とやさしい日本語でのコミュニケーションの練習をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート

【5】本時の展開			
過程時間	学習活動	指導上の留意点(支援)	資料(教材)
導入 (5分)	<p>○Kahootでペルーのスペイン語の復習。</p> <p>○前時の振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまで学んだスペイン、メキシコ、ペルーのスペイン語について。 ・スペイン語話者は多様性があってもお互いに理解し合い、違いを受け入れる寛容性があること。 	<p>前回学習したペルー文化やペルー独自の食事に関する語彙の復習をする。</p> <p>○前回の振り返りシートで出た意見を全体で共有する。</p> <p>○言語とそれを使う人々の文化は密接につながっていることを再確認し、多文化共生について考える。</p>	<p>・Kahoot クイズ</p> <p>・自作スライド【資料1】</p>
展開 (20分)	<p>○「多文化共生ってなんだろう？」外国にルーツをもつ本校生徒が作成したビデオメッセージを視聴する。</p> <p>第1作(道を歩いていた外国人生徒A。草刈りをしていた農家の方に声をかけられるが…)</p> <p>第2作(第1作で心に傷を負った外国人生徒Aが友人の外国人生徒Bにその出来事を聞いてもらう)</p> <p>第3作(コロナ禍で経験した外国人生徒C。日本人生徒Dの発言に途方にふれてしまう)</p>	<p>○ここからは、日本に住む外国人との多文化共生について考えさせる。事前に情報はあまり与えずに、まずは映像を視聴させる。</p> <p>○映像を見て、それぞれのシチュエーションでどのような問題点があるか、自分がこの状況にあったらどう対応したらよいか考えさせる。</p> <p>まずは、個人で考え、その後グループで話し合いをする。</p> <p>○ビデオを作成した3人の生徒は傷ついた経験をしながらも、現在は前向きに日本の社会で生活していることを確認する。</p>	<p>・映像資料</p> <p>・ワークシート【資料2】</p>
まとめ (10分)	<p>○本校3年生で、ペルーにルーツをもつモラレス・ラミレス ハルミ・カミラさんによる自身の体験に関する発表。</p>	<p>ペルー人として日本に住み、これまでの日本での体験を通して、どのようなことを大切にしているか、発表を聞いたうえで考える。</p>	<p>・自作スライド</p>

【授業実践の様子】



写真1.
ペルー独自のスペイン語の復習



写真2.
ビデオメッセージを見て考えたことをグループで話し合い



写真3.
モラレスさんの発表

【6】本時の振り返り

前回までの授業で扱ったスペイン語の多様性から、ペルー独自のスペイン語の特徴である食べ物と形容詞の関係について復習を行った。その上で、スペイン語の多様性と多文化共生について振り返った後に、日本における多文化共生について考えさせることにした。スペイン語は遠い国で話されている言語ということだけではなく、言語と文化は密接に繋がっていることを理解させた。そのことを踏まえ、日本に住む外国人生徒の課題に触れ、考えさせることができた。外国にルーツをもつ生徒のビデオメッセージも本校生徒が中心になって作成したもので、視聴したエピソードから、生徒たちは自分たちにとって身近なこととして、主体的に考えていた。

【7】単元を通じた児童生徒の反応/変化

授業を通して出た生徒からのコメントや感想を次に記す。

- ・ペルーの文化を学び、日系の人のコミュニティがペルーの食文化にも影響を与えていることに驚いた。
- ・メキシコやペルーなどスペイン語を話す人々が違いを楽しんで話しているのは素敵だと思った。
- ・使われる国や地域によって言語や文化の多様性があるのは面白いと思った。ただ単に違うだけでなく、お互いの違いを尊重しているのは素晴らしいことだと思った。
- ・メキシコやペルーについて学んでお互いの人が違いを楽しく受け入れているのが印象的だった。私も違いを楽しめるようになりたい。
- ・スペイン語の面白さや奥深さに興味がわきました!同じじゃないからこそ、違う人の言語や文化を学んでその人と話ができたらもっと仲良くなれると思う。もっと知りたいし、話せるようになりたいと思いました。
- ・ペルーやメキシコの国民性や文化が言語に反映されているのが面白かった。もっと知りたいと思った!
- ・みんな自分のルーツを大切にしている素敵だと思った。ペルーの食文化や多様性についてもっと学びたい!
- ・同じスペイン語圏でも国が変われば使われる言葉に違いがあったり、その国の文化や歴史に合わせたものになっていたり、お互いの文化を大切にしているんだなと思った。
- ・言葉や文化の違いを楽しんで受け入れていることが印象的だった!
- ・多文化共生といっても、国内で他の人に対する配慮がもっと必要だと思った。
- ・自分も無意識に相手を傷つけていることがあるかもしれない。常に相手のことを考えないといけないと思った。
- ・外国語が話せるだけでなく、相手を理解しようとするのが大事だと気づいた。
- ・相手を見た目で判断することが一番いけないことだと感じた。
- ・ペルーに日本の文化が根付いているので日系人の社会への貢献が影響していると知り、感動した。
- ・言語を勉強するということは、相手のことを理解する第一歩なんだと改めて気づいた。
- ・他より優れた、あるいは正しいスペイン語というものはないと気づいた。単に違うだけであることがわかった。スペイン語が素晴らしいのは違いがあってもどの国でも、スペイン語話者はお互いを理解し合い、違いを受け入れることが素敵だと思った。

【単元を通じ変容した生徒の態度や学習意欲】

これまで「世界の言語」の授業の中で、ただ単にスペイン語の文法や語彙、コミュニケーションを学ぶだけでなく、異文化理解学習やスペイン語圏の学校との交流などを通して、生徒の寛容さを育てる取り組みを行ってきた。本単元を通してこれまで以上に、生徒の学習態度と意欲に変化が見られた。言語と文化が密接な関係にあることを理解し、多文化共生に対する理解も深まった。授業での議論も活発化し、多文化共生を自分たちの身近なテーマとして考え、具体的で建設的な視点を持てるようになった。

【授業を通じた途上国・異文化・多文化共生等への意識の変容】

(授業前)

- ・周りに留学生や外国にルーツがある生徒が多くいる学校環境の中で、多文化を感じながらもそれが当たり前で、彼らがどんな悩みを抱えているかなどを知らずに過ごしている生徒もいた。
- ・異文化や多文化への興味や関心が強い生徒は多かったものの、ペルーについて知っている生徒はほとんどいなかった。

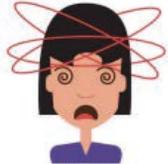
(授業後)

- ・異文化理解や多文化共生は外国に行くことだけでなく、日本にいながらも自分たちにできることがあり、そのために何をすべきか考えることができた。
- ・外国にルーツをもつ人の悩みに思いを馳せて、そこから自分たちのこれからの行動について振り返ることができた。
- ・言語と文化は密接につながっており、それが人の価値観や考え方にもつながっていることに気づくことができた。
- ・ペルーの文化、言語の特徴、日系コミュニティがペルー社会に与えた影響などについて理解を深めることができた。

【8】自己評価

1. 苦労した点	<ul style="list-style-type: none"> ・スペイン語の多様性というテーマから導入し、地域の多文化共生の実現というテーマへ、どうつながりを持たせて展開していくか、とても悩んだ。 ・授業者がペルーで経験したことをフォトランゲージやプレゼンテーションなどで伝える際に、伝えたいことや内容を精選し、絞ることに苦労した。
2. 改善点	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の授業において、言語活動やビデオメッセージを視聴した上でのディスカッションなど、たくさんの活動を詰め込みすぎてしまったと感じている。もう少し時間に余裕をもたせれば、生徒同士の話し合いも深まったと思う。 ・授業内で生徒同士がもっと意見交換できる時間を増やすべきだった。 ・スペイン語の授業の中で、多文化共生というテーマをどのように落とし込んでいくか、今後も考えていく必要がある。
3. 成果が出た点	<ul style="list-style-type: none"> ・スペイン語をただ単に英語以外の言語という位置づけではなく、異文化理解や多文化共生のためのゲートウェイとなることを、多くの生徒が気づくことができた。 ・今までは授業者の経験から、スペインやメキシコの言語や文化に焦点を当ててきたが、この単元を通じて南米ペルーの豊かな歴史や文化に触れることができ、アンケート結果や授業の様子から生徒の視野が広がり学習意欲が増した。
4. 備考	<p>今回の教師海外研修は授業者にとって学びが多く、教師としての指導観を考えなおす貴重な機会となった。</p> <p>スペイン語の多様性から日本国内の多文化共生について考えるという今回のテーマは、この研修に参加しなければ考えられなかったことであった。今後も外国語教師として目の前の子どもたちと世界をつなぐために何ができるかを深く探究していきたい。</p>

添付資料: 【資料1】自作スライド

<h2 style="text-align: center;">JER GAS CULINARIAS PERUANAS</h2>	<p style="text-align: center;">"ESE CHICO ES CALABAZA."</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">CALABAZA PERSONA TONTA</p>
<p style="text-align: center;">"ÉI TIENE CAMOTE POR ELLA."</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">CAMOTE ENAMORADO/ ENAMORADA</p>	<p style="text-align: center;">"TÚ ERES MI CAUSA."</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">CAUSA AMIGO</p>
<p style="text-align: center;">"ESE CELULAR ESTÁ BIEN CHANCHITO."</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">CHANCHITO BARATO</p>	<p style="text-align: center;">"YA ME VOY, CHAUFA."</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">CHAUFA ADIÓS</p>
<p style="text-align: center;">"ESA CHICA ESTÁ CHURRA."</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">CHURRO PERSONA GUAPA</p>	<p style="text-align: center;">"ESTÁ COCA COLA."</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">COCA COLA PERSONA LOCA</p>
<p style="text-align: center;">"ESE CHICO ES BIEN COCO."</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">COCO INTELIGENTE</p>	<p style="text-align: center;">"ESE EXAMEN ES PAPAYA."</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">PAPAYA FÁCIL</p>
<p style="text-align: center;">"EL EXAMEN ES YUCA."</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">YUCA DIFÍCIL</p>	

【資料2】ワークシート

多文化共生ってなんだろう？ ～国際の先輩が作ったビデオメッセージから考える～

これから視聴する映像は、国際高校の先輩が作成したビデオメッセージです。先輩たちが日本で実際に経験したことをもとに作成しました。映像を見て、それぞれのシチュエーションでどのような問題点があるか、自分かこの状況にあったらどう対応したらよいか考えてみよう。

第1作（道を歩いていた外国人生徒 A。草刈りをしていた農家の方に声をかけられるが…）

第2作（第1作で心に傷を負った外国人生徒 A が友人の外国人生徒 B にその出来事を聞いてもらう）

第3作（コロナ禍で経験した外国人生徒 C。日本人生徒 D の発言に途方にくれてしまう）

Clase: _____ Número: _____ Nombre: _____

参考資料:

- 1:パンフレット「日本と中南米をつなぐ日系人」(外務省)
https://www.mofa.go.jp/mofaj/press/pr/pub/pamph/japan_latinafrica.html
- 2:細身広美(編者)(2019)「ペルーを知るための66章(第2版)」明石出版
- 3:フリオ ビジョリア アパリシオ(2025)「耳が喜ぶスペイン語:リスニング体得トレーニング」